

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 5年 3月 1日

事業所名 ゆめクラブ2

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	12	0	1	・もう少し広いスペースがあると活動の幅が広がると思います。	遊具の収納場所等工夫していますが、中高生の活動場所として、今後も配慮を続けます
	②	職員の配置数は適切である	12	1	0	・自分のスキル不足のため平常時は足りていますが、有事の時は手薄に感じることがあります。 ・職員の数は足りているが、経費削減もありスタッフ(アルバイト、パート)の数は少なくなったと感じる。 ・予算のこともあると思うので無理は言えませんが、もう少し配置していただければ一人一人対応して頂けるのかなと思います。 ・最低限プラス子ども一人ひとりの発達保障を実現するための配置があると感じる。	適正な配置は遵守していますが、個別支援計画に基づき十分な配慮ができるよう、活動内容等で工夫をしています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	12	0	1	・入り口の段差は改善すべきと思う。スロープ等を置くなどの工夫。 ・手すりなどはないが、必要に応じた支援でカバーできている。	室温や床の柔軟性などの観点からどうしても段差などはできてしましますが、必要に応じた適切な支援を心がけ、カバーして行きたいと思います。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 している	12	1	0	・全ての職員が同様の意識での参画までには至っていない。	今後、記録システムの改善、その活用で広く職員に周知していきます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	9	4	0		今回の回答も経て、業務改善につなげていきます
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	9	4	0		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	4	5	4	・第三者評価のための予算が組めない	第三者評価導入の予算が組めるよう業務の効率化等を工夫していきます
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	12	0	1	・子どもたちの様子は時間のある限り教えていたきたいと思えます。 ・研修の機会は多く充実している。 ・コロナ禍にあって機会は減った。	コロナ禍にあって内部学習会の頻度は減りましたが、コロナの扱いも変わりましたので、機会等を充実させていきます。
⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	11	2	0	・十分な時間を設け、適切にアセスメントを行なっている。	今後も本人支援・家族支援を主眼に的確なハードルを活動の中にちりばめていきます	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	2	2	・様々な視点で図っている。	本人視点での分かりやすさを基に今後も工夫したツールを用いていきます
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	10	3	0		
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11	2	0	・様々な活動が行われるようになった。	子どもたちの『同じ安心』と『飽きない工夫』の両方を意識し、プログラムを組み立てていきます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	11	2	0		長期はほぼ必ずお出かけ活動を取り入れ、そこでの個々の課題に取り組めるよう支援を続けていきます
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	11	2	0		個別と集団それぞれの良さを活かしたねらいを設定しています
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	12	1	0	・担当する子どものみならず、全員の状況を把握することができて良い。	限られた時間の中ではありますが、個別状況表に基づいた支援内容を伝えられるように配慮しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	3	2	・必ずではないが、適宜行われる。 ・ないが、必要であれば、個人的にしている。	必要に応じて適宜行っています。活動後にも利用児が残る場合があるが、その場合も工夫し時間帯をずらすなどして振り返りを行います。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11	2	0		
関係機関 や保護者 との連携 関係機関 や	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	4	0		少なくとも半年に一度は丁寧にモニタリングを行い、見直しをしています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	9	3	1	・ひな形に沿ったもの？	ガイドラインの基本活動に沿った活動を組み立てています。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10	3	0		
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	8	3	2		インターネットで必要な情報入手するとともに、保護者の方々にも必要な情報をいただくようお願いし、連絡体系を用いています
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7	4	2	・医療的ケア児はいない、重心はいる。	現在、医療的ケアが必要なお子さんはおりません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	10	2	1	・かたつむりクラブとは共有している。 ・保護者を主体として行っている。	保護者の方を中心として、情報共有に努めています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	10	2	1	・全員に対するシステムがあるわけではない。	これまで、保護者の方からや、新たなサービス事業所からご要望などいただいた場合に、情報提供をさせていただいておりませんが、今のところ全体へのシステムを独自に持っているわけではありません。
㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10	3	0		必要に応じて連携を取らせていただいています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者との連携	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	3	8	・コロナ禍にあって交流の機会はほぼない。	コロナ禍にあって交流の頻度は減りましたが、コロナの扱いも変わりましたので、機会等を充実させていきます。
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	8	3	2	・障害者作品展など見に行った。	作品展に子どもたちの作品を展示させていただいたり、それを皆で見学に行くなどさせていただいています。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	12	1	0	・日々の連絡帳、モニタリング面談のみならず、申し送りや変化を捉えた発信などで共通理解を図っている。	・保護者の方にもご協力をいただきながら、お子さん自身やお子さんを取り巻く環境についての課題について、共通理解を図っています。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	9	3	1	・面談の中などで話すことはある。 ・日々のやりとりや面談の中に家族支援プログラムをまぶしている。	
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11	2	0		
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	2	1	・面談のみならず、電話・連絡帳等で活かしている。	必要な助言と支援をさせていただくことができるよう努めています。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	11	2	0	・年3回保護者会を開催している。	年3回、保護者会を開催し、共通の話題について実情を打ち明け合う機会などを設定させていただき、連携を支援しています。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	12	1	0		適切に対応させていただくよう努めています。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	13	0	0	・とても質の高い会報で活動状況がよくわかり良い。 ・月1回の会報発行	月一回の会報を発行しています。活動の内容や根拠が誰にとっても分かりやすく伝わるよう努めています。
	③⑮	個人情報に十分注意している	12	1	0		
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	2	0		傾聴する姿勢は前提に、相手の背景・立場・状況に配慮した伝達を意識しています。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	3	4	・地域の公園、施設、お店の利用をしている。	・地域の施設の利用や、イベントへの参加等、地域に根差した活動を行っています。
非常時等の	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	3	2	・マニュアルは最初の契約説明時に保護者の方へは配布している。 ・今年度は2回やりスタップと共有した。 ・訓練参加児には連絡帳で報告し、おたよりでも報告している。	マニュアルを策定し、それぞれに機会を設け、周知しています。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	2	2	・定期的、全てではない。	その会ごとにテーマを決め、定期的に訓練を行っています。今後様々な災害を想定し、訓練を続けます。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	12	1	0		虐待を予防すべく、風通しの良い雰囲気作りから意識して務めています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
の 対 応	④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	10	3	0		
	④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	2	2	・今のところ、食物アレルギー児はいない。	アレルギーに類する、服薬との相性の悪い食物などについても職員間で周知徹底しています。
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	2	2	・共有はしているが、事例集はない。	

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。